

事務事業チェックシート

事務事業No 684 事業名 和歌山音楽大行進開催委託事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
関連課	青少年課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
中事業		和歌山音楽大行進開催委託事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上を図り、文化的で明るいまちづくりに寄与する。		全体事業概要 5月5日のこどもの日に、参加団体の吹奏楽により実施する和歌山音楽大行進を開催する。 ・和歌山音楽大行進開催委託先 和歌山音楽大行進実行委員会 委員長 脇田 裕己 ・参加団体 保育所・小学校・中学校・高等学校吹奏楽部他			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
第43回 参加団体26団体 参加人数1,400名		第44回 参加団体30団体 参加人数1,460名	第45回 参加団体31団体 参加人数1,474名	第46回 参加団体30団体 参加人数1,488名 東京ディズニーリゾート*35周年スペシャルパレードが特別参加	第47回(予定)	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,852	1,852	1,852	1,852	1,800	1,800	5,397		1,800	
伸び率(%)	-	-	0.0%	0.0%	▲2.8%	▲2.8%	199.8%	▲100.0%	▲66.6%	-
人件費	正規職員	4,003	4,303	4,303	3,107	3,679	4,009	1,566		
	正規職員以外									
	小計	4,003	4,303	4,303	3,107	3,679	4,009	1,566		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,852	1,852	1,852	1,852	1,800	1,800	5,397		1,800	
所要人数(人)	正規職員	0.54	0.57	0.57	0.39	0.46	0.5	0.46		
	正規職員以外									
主な予算内訳	和歌山音楽大行進開催委託料1,800千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 委員会の開催	回	目標値	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2	2	
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標 参加者数		目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	
		実績値	1,400	1,460	1,474	1,488	
		達成度(%)	93.3%	97.3%	98.3%	99.2%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「子どもの日」を祝う事業として、市民の間ではすっかり定着しているシンボリック存在の事業である。
見直し・改善内容	更なる音楽大行進プログラムの充実を行い、パレード参加者の子どもたちの育成と観客の増加を図る。